



南部町立南部中学校 学校だより 第17号

チーム南部中

令和6年12月24日(火)
校長 秋山 欣仁

充実の2学期（76日）終了

今日で76日間の2学期の学校生活が終わります。最後の最後にインフルエンザの影響を受けてしまいましたが、何とか終業式を執り行うことができました。2学期は、“輝城祭”をはじめ、心のハーモニーを響かせた“音楽発表会”等の行事がありました。生徒の皆さんは、どの行事へも一生懸命取り組んでいました。同じ目標・目的を持って心をひとつにして仲間と取り組んだことで、満足感や充実感を思う存分実感したことと思います。また、新人戦やコンクール、弁論大会、作文・標語・ポスターへの応募、英語暗唱大会、理科自由研究発表会等、様々な活動に積極的に取り組み、大活躍しました。心から賞讃したいと思います。終業式（放送）での生徒の発表を紹介します。



【1年代表 安武 瑠菜 さん】

2学期は授業でオール5がとれることが多くなりました。また、行事を通して仲間と関わることの大切さを学びました。3学期は2学期にでた課題を改善し更に充実した学校生活を送っていきたいです。



【2年代表 佐野 百音 さん】

様々な行事を通して色々な人との関わりが増えたり、授業への意識を高めることができたりするなど、大きく成長することができました。3学期になると私たちは最上級生に近づきます。学年全員の力を最大限に発揮し目標とする集団に近づけるよう行動していきたいです。



【3年代表 小池 奏音 さん】

2学期の成果は、人間関係の質が高まり、良くないことは良くないと言えたり、仲間のために行動する人が増えたりしたことです。また、各行事では意識の差を埋めようと声をかけ合い関わり合えたことが成果です。卒業までの時間を大切に、3学年目標「行動する姿で示せる学年」を目指していきたいです。



【生徒会代表 青山 圭悟 さん】

2学期は数々の大きな行がありました。輝城祭ではテーマ「ともに」のもと、全力を尽くし音楽発表会では全校みんなで素晴らしい合唱を創りあげました。3学期は自分自身に目を向けて生活しましょう。

《生徒会役員所信表明演説会》

12月4日（水）に来年度の生徒会のリーダーによる所信表明演説会がおこなわれ、会長の佐野かのこさん、副会長の望月倫晴さん、熊王彩吹さんが来年度のリーダーとして南部中をより良くするための具体的なビジョンを堂々と発表しました。この後、本部役員が組織され最初の取り組みとして3年生に感謝の気持ちを伝える3年生を送る会企画・運営です。新生徒会の活動が楽しみです。



《生徒総会》

12月18日（水）に第2回生徒総会を行い、これまでの活動について振り返りました。スローガン「強みに気づく・強みを築く」は98%、生会目標「自分と仲間の力を活かし、共に成長を実感できる学校」は88.3%の生徒が「できた・どちらかといえばできた」と回答しました。この数字からも今年度の生徒会活動が充実していたことがわかります。



今回で木内太一生徒会長を中心とする活動から、新たなリーダーである佐野かのこ生徒会長を中心とする活動へと引き継がれます。更に発展することを期待します。

《書道教室》

12月17日（火）、教育祭書きぞめ大会に向け、書道の専門家である望月紀枝さんが学校支援ボランティアとして書写指導を行ってくれました。望月さんは毎年来校し生徒たちのために指導してくださっています。冬休みにも練習し、1月9日（木）の始業式に実施する「校内書き初め大会」でその成果を発揮してほしいと思います。ありがとうございました。



《アンサンブルコンテスト》

12月14日（土）YCC 県民文化ホールにおいて、第48回アンサンブルコンテストが開催されました。本校からは吹奏楽部の佐野百音さん、佐野統哉さん、佐野唯愛さんの3名が出場し、木管三重奏「長月絵巻（Tale of Autumn）」を演奏しました。12月に入ってから放課後の活動時間を延長して、この日のためにがんばってきた3人は、人数こそ少ないものの、堂々と息の合った素晴らしい演奏を披露してくれました。よくがんばりました。



《南部中：ウィキペディア PART 4》

本校の敷地には本校の歴史を記した石碑がいくつか残っています。先人達が築き上げてきた伝統と文化を受け継ぎながら、新たな南部中学校を創造していきたいと思います。当時を偲び、懐かしく思っただけならば幸いです。



校庭西側には平成二十三年に旧南部中学校の閉校を記念した石碑が残っています。裏面には「昭和二十二年に栄・睦合両中学校が設立」「昭和三十四年に旧南部中学校が誕生」「平成十三年に今の校舎が新築された」など、南部教育の歴史が記されている。「六十四年の歴史と蒙軒の気風をここに刻む」と力強く書かれています。この年の四月より富河中・万沢中・旧南部中が統合し新南部中が誕生し、今年で十四年目となります。

